

- 問1 北海道は日本最大の米の栽培面積を誇りますが、各都道府県的全耕作面積に占める米の割合を示した統計では、東北地方の多くの県よりも低い数値となっています。このような数値が示される理由として、北海道の農業の特色を踏まえた適切な説明はどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 冷涼な気候の影響で米の栽培が制限されており、米の生産量が日本で最も少ないため | 2. 小麦やてんさい、酪農などの米以外の作物の生産も盛んであり、農業の多様性が高いため | 3. 東北地方に比べて一戸あたりの経営面積が小さく、米の栽培に特化した効率的な農業が困難なため | 4. 大規模な土地利用は行われているものの、農地の大部分が住宅地や工業団地へ転用されているため |
|---|---|---|---|
- 問2 日本の北端に位置する北海道地方は、本州の大部分とは異なる気候の特色を持っています。夏は短く涼しい一方で、冬の寒さが非常に厳しく、季節による気温差が大きくなるこの気候帯の名称を、次の中から選びなさい。（2024年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|------------|-----------|------------|
| 1. ツンドラ気候 | 2. 亜寒帯（冷帯） | 3. 温暖湿潤気候 | 4. 西岸海洋性気候 |
|-----------|------------|-----------|------------|
- 問3 日本の農業統計において、北海道は他地域と比較して耕地面積に占める牧草地の割合が非常に高いという特徴があります。このような広大な土地を利用した酪農で生産される生乳の利用状況について、正しい説明はどれですか。（2025年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 生産された生乳の8割以上が、バターやチーズなどの加工用として利用されている。 | 2. 生産された生乳のほとんどが、鮮度を保持したまま大都市圏へ飲用として出荷されている。 | 3. 生産された生乳は、九州地方などの遠方の乳製品工場へ生乳のまま輸送されることが一般的である。 | 4. 生産された生乳は、果樹園の肥料や家畜の飼料としてその大半が地域内で消費されている。 |
|---|--|--|--|
- 問4 北海道における二〇〇五年から二〇二〇年にかけての農業統計では、農業経営体の総数が五百四十七から三百四十九へと大幅に減少する一方で、団体経営の数は三十五から四十三へと増加しています。また、経営耕地面積の合計は大きな減少を見せていないため、一経営体あたりの面積が拡大しています。このような北海道農業の動向を表す言葉として最も適切なものはどれですか。（2024年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------|-------------------|----------------|------------|
| 1. 農業経営の大規模化 | 2. 二毛作による土地利用率的向上 | 3. 減反政策による生産調整 | 4. 近郊農業の展開 |
|--------------|-------------------|----------------|------------|
- 問5 日本の地理に関連して、北海道の知床や鹿児島県の屋久島は、その貴重な自然環境が評価され、「世界遺産リスト」に登録されています。このように、世界の文化遺産や自然遺産の保護を推進している国際機関はどれですか。（2016年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|---------|-----------|--------------|
| 1. 世界貿易機関 | 2. ユネスコ | 3. 国連児童基金 | 4. 東南アジア諸国連合 |
|-----------|---------|-----------|--------------|
- 問6 日本の国内における旅客輸送の状況について、東京都から北海道への移動を事例として説明した文として、適切なものはどれか。（2022年 栃木県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 長距離の移動となるため、速達性に優れた航空機の利用が主流となっているが、新幹線の延伸などにより鉄道も重要な役割を担っている。 | 2. 環境負荷を低減する目的から、二酸化炭素排出量の多い航空機の利用が制限されており、鉄道が唯一の公共交通機関となっている。 | 3. 青函トンネルの開通以降、鉄道による輸送コストが大幅に低下したため、航空機から鉄道への利用転換が完全に完了している。 | 4. フェリーを利用した海上輸送が旅客輸送の中心であり、航空機や鉄道は補完的な手段として位置づけられている。 |
|---|--|--|--|
- 問7 ニセコ町や倶知安町が進める「ニセコモデル」において、外国人宿泊客の急増に伴う課題を解決するために、特に重視されている取り組みの内容として正しいものはどれですか。（2025年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 公共交通機関と宿泊施設を結び二次交通の利便性向上と、官民連携による環境整備 | 2. 地元の農産物を輸出するために、観光客の移動手段を制限して物流網を優先すること | 3. 冬季の観光客を分散させるため、冬のスキー場を閉鎖して通年型の農業体験へ転換すること | 4. 国内の修学旅行生を優先的に受け入れるための、外国人客向けの宿泊料金の引き上げ |
|--|---|--|---|
- 問8 北海道のオホーツク海沿岸に押し寄せる流氷に関する説明として、漁業への影響という観点から最も適切な記述はどれか。（2025年 青森県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|
| 1. 氷に含まれる植物プランクトンなどの栄養分が解け出し、海を豊かにする | 2. 氷が海底を削ることで、コンブなどの海藻類が育ちやすい環境を作る | 3. 寒流である親潮の流れを強め、サケやマスの回遊を妨げる | 4. 海面を覆うことで水温の低下を防ぎ、魚の活動を活発にする |
|--------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|
- 問9 北海道の石狩平野では、かつて激しく蛇行していた石狩川の流路を、人工的に作り替える大規模な治水工事が行われました。このような「河川の直線化」が行われた主な理由と、その後の土地利用の変化について説明した記述として最も適切なものはどれですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 川の流れを緩やかにすることで土砂を堆積させ、大規模な果樹園を造成するため。 | 2. 洪水の被害を軽減して水を速やかに海へ流し、泥炭地を排水して農地を拡大するため。 | 3. 水力発電のための貯水池を確保し、周辺に製紙工場を誘致して工業化を進めるため | 4. 内陸部への大型船の通航を可能にし、水上交通を利用した工業地帯を形成するため。 |
|--|--|--|---|
- 問10 夏の北海道東部の太平洋沿岸では、濃霧（海霧）が発生しやすいため、8月の日照時間が約127時間にとどまる釧路のように、札幌（約171時間）と比較して日差しが遮られる傾向があります。この濃霧を発生させる要因となる、北海道の東側を南下する寒流の名称を次の中から選びなさい。（2021年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|----------|-------------|-------------|
| 1. 対馬海流 | 2. リマン海流 | 3. 日本海流（黒潮） | 4. 千島海流（親潮） |
|---------|----------|-------------|-------------|
- 問11 北海道の石狩平野では、かつて稲作に適さない水分を多く含んだ泥炭地が広がっていました。この土地を農地に変えるために、他の場所から性質の異なる土を運び入れ、もとの土と混ぜ合わせて土壌を改良する方法が行われました。この技術の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2024年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 干拓 | 2. 開拓 | 3. 客土 | 4. 輪作 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問12 北海道の農業は、農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広いことが特徴です。このような土地条件のもとで行われている農業のあり方について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 寒冷な気候による被害を防ぐため、耕地面積を小さく抑え、小規模で多品目な栽培を行っている。 | 2. 土地の生産性を高めるために、多くの労働力を投入する労働集約的な稲作が広く行われている。 | 3. 限られた土地から高い収益を得るため、ビニールハウスなどを活用した施設園芸農業が中心となっている。 | 4. 広大な農地を効率的に管理するため、大型機械を活用した大規模な機械化農業が展開されている。 |
|---|--|---|---|